

施策 252 東紀州地域の活性化

【主担当部局：地域連携部南部地域活性化局】

県民の皆さんとめざす姿

東紀州地域は多様で豊かな自然や歴史風土の中で、豊かでゆとりある暮らしが実現できる地域です。地域の人びとだけでなく都市部の人びとにとっても魅力的な地域をめざし、地域のさまざまな主体が連携し、地域の自然や歴史とともに生きる暮らしを大切にしながら、地域経済が活性化され、地域社会が健全に維持されています。

平成 31 年度末での到達目標

これまでの熊野古道を核とする地域の資源や魅力を生かした観光振興、産業振興、まちづくりの取組を一層進めることにより、個性豊かな地域づくりが行われ、地域の人びとが誇りを持った魅力的な地域となることで、集客交流人口が増加するとともに、地域製品の販路拡大など産業振興が図られています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
東紀州地域における観光消費額の伸び率						107
	100 (26 年)					
目標項目の説明	観光旅行者が東紀州地域において支出した観光消費額の平成 26(2014) 年を 100 とした場合の伸び率（雇用経済部観光局観光政策課調べ）					
28 年度目標値の考え方						

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
25201 地域の自立に向けた環境整備（地域連携部南部地域活性化局）	地域づくりに取り組む語り部人数						100 人
		85 人					
25202 地域資源を生かした集客交流（地域連携部南部地域活性化局）	熊野古道の来訪者数						450 千人
		429 千人 (26 年)					

活動指標		27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
基本事業	目標項目	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
		25203 地域資源を生かした産業振興（地域連携部南部地域活性化局）	商談会等における成約件数	19件 (26年度)			

現状と課題

- ①東紀州地域は、地理的条件もあり地域経済が低迷しており、就労の場が少ないことから、若年層が流出し、過疎・高齢化が進行するなど地域の活力が低下しています。このままでは、県内他地域との経済的な格差がますます拡大するだけでなく、地域社会そのものが維持できなくなることも危惧される状況にあります。
- ②これまで、東紀州体験フェスタの開催や熊野古道の世界遺産登録など、さまざまな取組を通じて、魅力ある地域資源の掘り起し、磨き上げを進めてきました。あわせて、熊野古道センターや紀南中核的交流施設を整備し、地域資源を生かした集客交流の取組を着実に進めてきました。
- ③平成 25（2013）年度までの高速道路網の整備、平成 26（2014）年の「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録 10 周年の取組などにより、さらなる交流人口の増加、地域の賑わいにつながってきています。こうした成果を今後につなげていくため、引き続き、熊野古道を核とした集客交流の取組や産業振興の取組など、地域のさまざまな主体と連携して東紀州地域の活性化を図っていく必要があります。

平成 28 年度の取組方向

- ①地域のコーディネーターとして地域振興の取組を総合的に推進する役割を担う東紀州地域振興公社を最大限活用し、地域と一体となって、観光振興、産業振興、まちづくりを推進します。
- ②熊野古道センターでは、地域との連携を図りながら、熊野古道をはじめとする地域資源の魅力を発信するとともに、集客交流を進めるため、企画展、交流イベントや体験教室等を開催します。紀南中核的交流施設では、魅力的な宿泊プラン等の設定、地域資源を活用した体験プログラムの実施や地域と連携したイベントを開催します。
- ③熊野古道世界遺産登録 10 周年による賑わいを継続し、次の 10 年につなげていくために、伊勢志摩サミットなどを契機として、熊野古道の価値を次世代に伝える取組や、おもてなしの向上など地域が主体となった受入体制の充実、伊勢から熊野までを結ぶ環境づくり、情報発信等を一層進めるとともに、一次産品の高付加価値化や販路拡大、産業人材の育成など産業振興に取り組めます。

主な事業

- ① 東紀州地域振興推進事業【基本事業名：25201 地域の自立に向けた環境整備】
 予算額：(27) 16, 155千円 → (28) 10, 494千円
 事業概要：東紀州地域振興公社において、熊野古道伊勢路を中心とした集客交流を図るとともに、物産展等を通じた販路開拓などの取組により、地域の活性化につなげます。

- ② 熊野古道センター運営事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】
予算額：(27) 68,551千円 → (28) 68,469千円
事業概要：熊野古道センターにおいて、熊野古道を核とする魅力ある企画展や地域と連携した交流イベントの実施、情報発信等により集客交流を促進します。
- ③ 紀南中核的交流施設整備事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】
予算額：(27) 285,290千円 → (28) 285,273千円
事業概要：紀南中核的交流施設において、事業者の独立採算により運営を行うことを条件とし、整備等にかかる費用の一部を補助することにより集客交流を促進します。
- ④ 熊野古道活用促進事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】
予算額：(27) — 千円 → (28) 51,308千円
事業概要：熊野古道の価値を次世代に伝える取組や伊勢から熊野をつなぐ環境づくり、情報発信等に取組むことにより、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図ります。
- ⑤ (新) 東紀州地域産業活性化事業【基本事業名：25203 地域資源を生かした産業振興】
予算額：(27) — 千円 → (28) 6,384千円
事業概要：東紀州地域の市町等が主体となって取り組む新商品開発やブランド化、販路開拓、地域の産業人材の育成等に対して支援を行います。